

10月

給食センターだより

小鹿野町学校給食センター
2025年10月



秋を楽しむ🐰お月見の行事

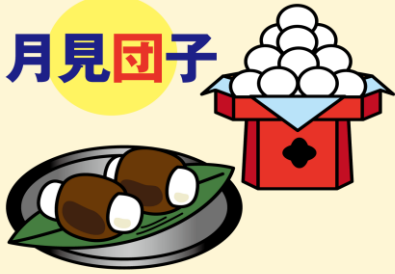


ようやく暑さが和らぎ、秋の気配を感じるようになってきました。昔から、秋は1年のうちで最も月がきれいに見える季節とされ、昔の暦（旧暦）で秋の真ん中にあたる8月15日の十五夜の月を「中秋の名月」と呼んで、月を観賞するお月見の行事が行われてきました。ちょうどこの時期に里いもが収穫されることから、里いもをお供えしたり、「きぬかつぎ」などの里いも料理を食べたりする風習もあり、別名で「芋名月」ともいいます。また、十五夜からひと月ほど後の十三夜にもお月見をする風習があり、両方合わせてお月見をすると縁起が良いとされています。

2025年の十五夜は10月6日、十三夜は11月2日です。

🐰十五夜の行事食

月見団子



米から作る団子。満月に見立てた丸い形のほか、里いもの形などもあり、地域によって違いがあります。

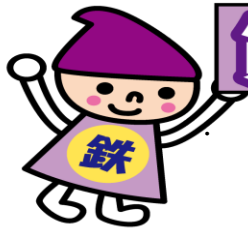
きぬかつぎ



里いもを皮付きでゆでたり蒸したりしたもの。平安時代の女性の服装にちなんでこう呼ばれます。

給食の十五夜メニュー

牛乳 わかめごはん
お月見汁（黄色いかぼちゃのすり身団子入りのすまし汁）
メンチカツ（丸い形です）
おかかあえ
お月見大福（さつま芋と豆乳クリーム入りの黄色い大福もちです。）



貧血を防ぐ！ 食生活のポイント



私たちの体内には血管が張り巡らされており、血液によって酸素や栄養が全身に運ばれています。貧血は、酸素を運ぶ赤血球中のヘモグロビンの量が減って体が酸欠状態になることで、ヘモグロビンを構成する鉄（鉄分）の不足によって起こるのが「鉄欠乏性貧血」です。成長期で急に身長や体重が増えたときや、日常的にスポーツをする人は特に貧血になりやすいため、食事から鉄を意識してとる必要があります。



★どんな症状が出るの？

めまいや立ちくらみ、頭痛、動悸、息切れ、疲れやすいといった症状のほか、次のような症状もよく見られます。

★貧血を防ぐためのポイント

下まぶたの内側が白っぽい

顔色が青白い

爪がスプーン状にそる

氷を無性に食べたくなる

無理なダイエットなどはないで、朝・昼・夕の3食を欠かさず食べる。

主食・主菜・副菜をそろえて、栄養バランスを整える。

鉄を含む食品を意識して取り入れる。

レバー 炒め

鉄

ボンゴレ パスタ

鉄

鉄には、赤身の肉や魚、レバーなどの動物性食品に含まれる「ヘム鉄」と、大豆や野菜などの植物性食品に含まれる「非ヘム鉄」があり、ヘム鉄の方が体に吸収されやすいという特徴があります。鉄はビタミンCと一緒にとることで吸収率が高まるので、植物性食品の場合は、ビタミンCを含む食品と組み合わせるとよいでしょう。

鉄を多く含む食品

動物性食品（ヘム鉄）



植物性食品（非ヘム鉄）



ビタミンCを多く含む食品



10月は久しぶりに「納豆」を出します。埼玉県産の大豆で作った「彩の国納豆」です。今回は「小粒納豆」にしました。次は、「大粒納豆」の予定です。

小鹿野中学校のみなさんへ
6月に実施した「給食Enjoy☆キャンペーン」の1位の3Bと3位の1Bのリクエストメニューを10月に取り入れます。同じく1位の3Cのメニューは11月に取り入れる予定です。お楽しみに！

お知らせ

給食センターブログ開設中。ぜひ、アクセスしてみてください。



QRコードでもアクセスできます！

